



THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A. THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

山梨県甲府市中央5丁目4-11
山梨Y.M.C.A.青少年センター
〒400-0032 TEL 055-235-8543
FAX 055-235-8553

国際会長主題：私たちは変えられる
アジア太平洋地域会長主題：アクション！
東日本区理事主題：為せば、成る
あずさ部長主題：未来はそれに備える人のものである
甲府21クラブ会長主題：世代を超えて、笑顔で奉仕

Moon Sang-bong (韓国)
田中 博之 (東京多摩みなみ)
宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)
廣瀬 健 (甲府21)
野々垣健五

甲府21ワイズメンズクラブ
2018年9月会報
強調月間
ユース

今月の聖句

終わりに、兄弟たち、すべて真実なこと、すべて気高いこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて名誉なことを、また、徳や称賛に値することがあれば、それを心に留めなさい。わたしから学んだこと、受けたこと、わたしについて聞いたこと、見たことを実行しなさい。そうすれば、平和の神はあなたがたと共におられます。 フィリッピの信徒への手紙4章8節～9節 山県譲治 選

会長挨拶「世の光、地の塩」

甲府21ワイズメンズクラブ会長 野々垣健五



野々垣健五会長

酷暑の中の「納涼例会」は、多くの方が参加しての開催となりました。超忙しい米長メンの名司会や、弟を喪ったばかりの荻野メンも大活躍してくれました。感謝です。

8月21日開催の「第2例会」にも多くのメンが出席して下さりました。稲垣メン、小澤(智)メンも久方振りに元気な様子を見せてくれました。

私は現在、山梨YMCAの新館のプロジェクトに時間を割いています。長年、民間企業で動いて来た私のアキレス腱は、「補助金なる味方」と、「行政という壁」であると感じています。正に、「村度とは如何なるものか」を勉強する良い機会でもあります。「山梨YMCA」には、そちらの方面では力強い味方が居て下さり、有難い限りです。然し、「ハード」だけでは勝負出来ません。鍵を握るのは「プログラム」と「人材」、それらを活かす「リーダーシップ」となります。「甲府21」もプログラムの充実が何より大事です。固定資産や事業収益等を考える必要がない分、「やっている意義」、「仲間と共にやっている意味」を常に考えていくべきでしょう。又、「YMCA」の「C」をしっかりと頭の根っこに置いて対処していくと、色々な道が拓けてくると信じます。例え微力であっても、『世の光、地の塩』の一助として動きたい、考えたいものです。互いに体調第一に、残暑というより酷暑厳しい9月を乗り切っていきましょう！

2018年9月準例会プログラム

日時：2018年9月19日(水)18:30～

会場：柳町カフェ

司会：古屋秀樹メン

- | | |
|---------------|---------|
| ①開会点鐘 | 野々垣健五会長 |
| ②ワイズソング | |
| ③ワイズの信条 | |
| ④今月の聖句と一言 | 山県譲治メン |
| ⑤会員スピーチ | 清藤城宏メン |
| ⑥会長挨拶 | 野々垣健五会長 |
| ⑦ゲスト・ビジター紹介 | 野々垣健五会長 |
| ⑧ハッピーバースデー | |
| ⑨松村豪夫メンの退院を祝う | |
| ⑩松村豪夫メンの挨拶 | 松村豪夫メン |
| ⑪乾杯・ワイズディナー | |
| ⑫諸報告 | |
| ⑬YMCAの歌 | |
| ⑭閉会点鐘 | 野々垣健五会長 |

※進行は変更になる可能性があります

【9月誕生者】
【メン】 後藤哲夫(9月1日) 松村禎夫(9月3日)
古屋秀樹(9月11日) 清藤城宏(9月14日) 露木魁人(9月21日)
小澤智之(9月28日)
【メネット】
駒田元子(9月11日) 功刀佳津子(9月23日)
※9月4日開催予定だった第1例会は台風の影響で未開催です。
※社会福祉法人葛葉学園鈴木正宏理事長の卓話は来年2月の第1例会に変更となりました。

会員在籍者数	30名
8月納涼例会出席者	22名
8月第2例会出席者	21名
会員出席率	86.00%

項目	ニコニコボックス	パザー収益金	クリスマスオークション	BCコンサート募金	街頭募金ファンド	切手
目標値	250,000	50,000	50,000	50,000	50,000	5,000g
8月の計	43,370	—	—	—	—	183g
8月末までの合計	67,660	—	—	—	—	183g
達成率	27.00%	—	—	—	—	3.66%

納涼例会に出席できなくて第2例会に出席されたメンが4名 22名+4名=26名 26÷30×100=86%

2018年8月納涼例会報告

甲府21ワイズメンズクラブ書記 寺田喜長

「戻猛暑」と呼ばれる酷暑に見舞われ、如何に葉の生い茂るぶどう棚の下でも汗の吹き出す納涼例会となりました。

38度近い気温にBBQの熱が加わり、汗を拭き拭き、しかも、スピーカーが不良にて話をする方は大声を張り上げて大汗をかきながら奮闘、幸いにも司会者をはじめ大きな声を得意とされる方々のお話で事なきを得ました。功刀メンは、10月のあずさ部会の講話につなげる聖句と一言、佐藤メンは故郷の秋田を種々の観点から幾つかの秋田自慢を宣伝、秋田県を再認識、サンライズの大谷会長は6月の東日本区大会をアピール、あずさ部を挙げて応援願いたいと。あずさ部の他クラブから神谷ご夫婦をはじめ11名のメン、メネット、ベビーカーコンサートでお世話になっている矢崎ご夫婦、そして作田メンのお母様にも遠方よりお越しいただきました。有り難うございます。長い間皆様にご協力頂き、ぶどう棚例会が続いていますことに改めて感謝いたします。



納涼例会の様子
＝2018年8月26日 甲州市勝沼町・一古園

日時：2018年8月26日(日) 14:30～

会場：一古園(甲州市)

【出席者】

<メン>相川、飯田、荻野、小澤(公)、鎌田、功刀、輿水、後藤、駒田、作田、佐藤、清藤、茅野、寺田、野々垣、廣瀬、古屋、藤原、松村(禎)、葉袋、山本、米長

<メネット>相川、鎌田、清藤、寺田、野々垣、廣瀬、松村(仁)、葉袋、山本

<ゲスト>長谷川あやこ、小口多津子(八王子)、大澤英二、祥子、田草川すみ江(甲府)、神谷幸男、雅子、鳥越成代(東京西)、大谷博愛、荻渕光男(サンライズ)、渡辺大輔(武蔵野多摩)、矢崎武雄、恵子(さいたまみに北会)、小澤はる子(作田メン母上)
敬称略

ふくろうキャンプ報告

甲府21ワイズメンズクラブ 作田あずさ

8月11日、山梨県立少年自然の家にて、山梨YMCAのふくろうキャンプのお手伝いに参加しました。

発達に何らかの障がいがある児童とその兄弟姉妹を対象にしたキャンプで、お昼のカレー作りです。甲府21クラブの参加メンバーは10名。<荻野・小澤(公)・鎌田・茅野・寺田・野々垣ご夫妻・松村(禎)・作田・作田コメント>

60人前のカレーを作る為、早速子ども達と一緒に作業を始めます。まず野菜を洗い、ピーラーで皮を剥いていきます。とても上手に、とても丁寧に野菜を切る姿に感心をしていると、この日のために包丁を使う練習をしてきた事を教えてもらいました。

かまどでは飯ごうの準備をし、焚き付けを始めています。子ども達もメンバーと同じ様に鉋を使い、薪を細く裂いていきます。隣で優しく声をかけながら温かく見守るメンバー達の姿は、まるで家族のようでした。

大鍋を炊く火を、子ども達がうちわで懸命に仰ぎ続け、周りで応援します。そのおかげで早く炊き上がり、皆で一緒にいただきました。

お肉も野菜も、そしてみんなの笑顔もたっぷりに入ったカレーはとても美味しく出来上がり、60人前があっという間に完食となりました。とても楽しい一日をありがとうございました。



ふくろうキャンプでのカレー作り
＝2018年8月11日 甲府市・山梨県立少年自然の家

新会員挨拶

甲府21ワイズメンズクラブ 飯田 剛



飯田 剛メン

このたびの入会に当たり、クラブの運営にご協力して参ります。皆様にはよろしくご指導の程、お願い申し上げます。

今、私が情熱を込めて世の中へ広めようと努力している物があります。エアコンの概念を一変させる冷暖房技術です。

“光冷暖”と言います。新しい概念ゆえに説明しにくい物ですが、ぜひ知って下さい。簡略に説明すると、この様な物です。

「エアコン」は、空気を冷やしたり温めたりしてその空気を風で送り出します。その風を人が肌で直接感じる事で、“冷”“暖”を意識します。場所により、ムラが生じ、直風を嫌う人も多くなります。ホコリ・ウィルス等の拡散を常時・連続して行っているのがエアコンです。

「光冷暖」は、音も無く・風も無く・ムラも無く、いる人の体感温度を光エネルギー（遠赤外線）により感じさせるものです。解りにくいですが、でも単純です。太陽光による放射（輻射）熱と全く同じ事です。

光冷暖システムの構成は、A：熱エネルギーの放射体（セラミック加工された）パネル、B：同じくセラミック加工された壁、C：天井の3要素です。エネルギー源は水（不凍液）です。

7℃～45℃の水、約15ℓを屋外のヒートポンプとパネルを循環させて冷房、暖房をします。パネルを設置していない部屋・廊下・トイレもセラミック加工で同じ温度になります。この居心地の良い空間をぜひご体感下さい。

新会員挨拶

甲府21ワイズメンズクラブ 藤原琢也



藤原琢也メン

7月3日のキックオフ例会にて入会させていただきました藤原琢也です。

2017年、私は2回の被害事故に遭いました。GW前とお盆前の時期でした。車は全損廃車となりました。2回とも長期の休み前でした。“2度ある事は3度ある”のことわざがあるので、年末の休み前に来年を迎える事ができるかなと思っていたら、病気療養中の父が亡くなりました。自分を生かしてくれたのだと思いました。そんな折、父と岡島時代の戦友でもありました野々垣会長には本当に色々お世話になりました。そして私の仕事始めも野々垣会長でした。そんな関係で甲府21ワイズメンズクラブにお声をかけていただき喜んで入会致しました。

平成7年に大学卒業後、23年間保険業界に携わってきました。23年の間に業界も変化し様々な保険商品が出ていますので、私も全てに於いてリスクを提案できるように心掛けて日々

努力をしています。

現在は保険募集運営を確保する為の体制（PDCAサイクル）が推奨されています。

P（プラン）：取組計画 D（ドゥー）：周知・徹底し実行
C（チェック）：検証 A（アクション）：改善策の立案・実施
これらの体制で日々の業務運営を遂行しています。

少しでも上記のような形を私なりに考え変化させてイベント行事や今後の甲府21ワイズメンズクラブの会の力になりたいと思っております。

私は営業職ですが実は人見知りで、なかなか自分から話しかける事が得意ではありません。加えて社会貢献などまだまだ初心者です。

若手と皆さんに言われていますので、一生懸命頑張りますのでどうかご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

会員ペンリレー 甲府21 さらなる飛躍を
甲府21ワイズメンズクラブ 米長晴信



納涼例会で司会を担当した米長メン
＝2018年8月26日 甲州市勝沼町・一古園

昨年の納涼例会で入会させていただき、ちょうど1年が経ちました。まだわずかな期間ですが、さまざまな形でクラブと関わらせていただき、とても充実した年を過ごさせていただきました。

毎月の例会、フライングディスク、バザー、チャリティーランなど、行事にはほとんど参加しましたが、皆様の元気で前向きな社会奉仕活動を拝見しながら楽しくまた、本会報への投稿、卓話、クリスマス例会の余興担当なども割り振っていただき、わずか1年とは思えないほどクラブに馴染んで参りました。

野々垣新会長のもと、私にとっては2年目の活動となりますが、初年度での経験を元にさらに積極的に参加していきたいと考えています。新年度の年間行事計画表ではこの原稿の執筆（提出期限を過ぎて慌てて執筆しております）、そして納涼例会の司会を拝命し、この原稿をお読みになっている時点では無事(?)終わっているはずで

さて、野々垣会長のご配慮で年度の前半に私の個別の役割を割り振っていただきました。私事ではありますが、下半期にさしかかる頃に多忙になる事が予想されるため、会長による配慮

だと理解しております。人口が減少する中で山梨県を素晴らしい県として持続可能にするためには未来のある子供たちを如何にベテランの皆様が縁の下の力持ちとして支えるかにかかっています。子供たちの心身の成長を育む活動をされているY MCAとワイズメンの両輪はまさにそれを実践しています。今年EMC（クラブ拡張会員維持増強事業）委員会に業務の分担をいただきましたので、このすばらしい取り組みをできるだけ世に広めるために一人でも多くの理解者（仲間）を増やしていき、甲府21をさらに皆様とともに盛り上げていきたいと思ひます。

佐藤重良の慰労会報告

甲府21ワイズメンズクラブ 赤根 学

当クラブ前年度会長の佐藤重良の慰労会が、7月18日の第2例会後に「柳町カフェ」において開催されました。

功刀の音頭により乾杯がなされ、クラブメンバーがそれぞれ佐藤前会長と杯を傾けながら、佐藤年度の思い出話に花が咲いていました。

野々垣会長は、厳しいハンデの中での素晴らしい行動力と指導力で甲府21クラブをリードしていただいたこと、及び強い団結を示すことの出来るクラブに成長させてくれたことを御礼と共に話されておりました。

結びに、佐藤前会長から前年度のクラブ運営へのご協力に対する感謝と、山梨Y MCAへの協力支援体制推進の一助になりたいと語られておりました。また今後の甲府21クラブの発展と継続を、皆様と共に歩み、楽しんでいきたいと力強く宣言されておりました。最後に柳町カフェのスタッフの皆様、素晴らしいお料理に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



YMCA便り 内閣府と甲府市に補助金を申請 山梨YMCA総主事 露木淳司

現在の会館取り壊しに対する山梨県からの補償金だけでは十分な事業内容を備えられないとして、ワイズの皆様には建設募金をお願いする次第ですが、加えてこの夏、新会館の中で計画している2つの事業に対する助成金の申請にトライしました。内閣府に対する企業主導型保育施設への助成申請と甲府市に対する発達障害児支援施設への助成申請の2つです。これが獲得できれば、念願の“YMCA FOR ALL”を実現するプログラム展開が可能になります。生まれわたりの0才児と100才を迎えようとするお年寄りが、ひとつ屋根の下で共に過ごす空間が誕生します。合わせて、障がい児や留学生たちが共に交わる環境を目指します。

この新会館でできることは小さなことかもしれませんが、でもこのチャレンジが実を結べば、地域共生社会の縮図として一つのモデルとなり、甲府から全国に向けてムーブメントを引き起こせるかもしれません。

どうか皆様、この助成金の申請が無事通りますように祈りに加えていただければ幸いです。そして、この夢の実現に向けて、皆様の力をお貸しください。



■ 今後の予定

9月23日（日・祝）

こうふ開府500年記念事業100日前
市民みんなのパレード

10月 2日（火） 第1例会

10月16日（火） 第2例会

10月20日（土） 第22回あずさ部会